

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		つくば市福祉支援センターさくら				公表日	令和7年3月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・クラスによっては職員の足りないところもあったが、他クラスの職員に助けてもらえた。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	・建物の構造上規定されてしまう部分はあるが、創意工夫で改善されている処も多い。	・ある保育室は低年齢の子どもには使いづらい。トイレの段差やペーパーホルダー、手すりの位置等改善が必要。 ・建物が古く、配慮の足りていない部分がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・トイレや洗面所などしっかり清掃している。	・ううか、トイレが暗い。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2			
業務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1		・もっとよりよくできると思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・全体会議を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・県の発達障害者支援センターのセミナーの受講をしている。		
適 切 な 支 援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	1		・職員の質や知識、技術、意識等に差があり、個人に合わせた支援計画が作成できていないことがあると思われる。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1		・作成の際のカンファが行われていない。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	2		・共有はされていると思うが、計画に沿った支援をもう少し意識する必要が。 ・共有はされていない事が多く感じられた。もう少し話し合いの場が設けられると良い。 ・職員の知識や技術、意識等に差があり、必要な支援が行われていないこともある。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		・項目を明確に設定するようにしたい。	

援 の 提 供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		・工夫しているが固定しがち。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	2		・集団活動メイン。 ・個別活動を行っておらず、集団活動の中で支援になる。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1		・打合せはしているが、急に変更することで戸惑うことがある。 ・打合せの内容が薄く、重要な事柄が話し合えていない。連携は、その場その場が多く対応の難しいことも。事前準備が必要。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0		・打合せ中に寝ている職員がいる。 ・打合せ中に寝ている職員がいて、内容について共通理解が図られないことがある。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		・検証・改善につなげるには、根本的な方法の見直しも必要。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		・担当者会議自体を理解できているのか疑問。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		・小学校とは図っていない。 ・小学校との情報共有は行っていない。特別支援学校とは行っている。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	1		
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特レーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・市で行っているものを案内している。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3		・きょうだい同士での交流はない。 ・きょうだい同士の交流はしていない。 ・きょうだい同士で交流する機会は設けていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1		・周知されていない。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		・食物アレルギーのあるお子さんがいなかつた。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		・周知されていない。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		・しっかりとした周知はされていないか。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		・ヒヤリハットの報告をしていない。 ・共有しているが十分ではないところがある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	3	・身体拘束にあたる事例がない。 ・身体拘束を行わない前提で、仮に起きた場合は保護者にその都度説明することにしている。	・やむをえず身体拘束することも想定されるが計画に記載するまでに至っていない。必要がある場合相談していきたい。 ・十分な説明や記載はしていない。